

新校名案「大牟田市立桜花中学校」の決定にあたって

～生徒の願いと平和への誓いを未来へつなぐ～

大牟田市教育委員会は、白光中学校と甘木中学校の学校再編により、令和9年4月に開校する新中学校の校名案を「桜花(おうか)中学校」と決定いたしました。この校名案には、これからの未来を担う子どもたちの願いと、私たちが次世代に語り継ぐべき平和への祈りが込められています。

1. 生徒たちが校名案に込めた「想い」

この校名案は、再編対象校の生徒による提案から生まれました。生徒たちは、地域の美しい桜並木に触れ、次のような願いを届けてくれました。

「桜が綺麗な花を満開に咲かせるように、満開に一人一人個性を咲かせる学校になってほしい。」

「堂面川が流れるこの地域は、桜が綺麗に咲いていて、桜は色の濃さや形がそれぞれ違っています。そんな桜のように、新しい中学校に通う後輩たちがそれぞれの個性を輝かせながら自信を持って楽しい学校生活をおくってほしい。」

この「多様性の尊重」と「自己実現」への純粋な願いは、新しい時代を切り拓く中学校の理念として最もふさわしいものであると私たちは考えました。

2. 「桜花」という名称と向き合う

一方で、「桜花」という名称は、戦時中、特攻兵器に使われた歴史的事実があります。この歴史を重く受け止める方々から、校名案として懸念する声もいただきました。

教育委員会としては、この事実から目を背けるのではなく、教育の場だからこそ真正面から向き合い学習すべきだと考えています。かつて、若く尊い命が「桜花」の名のもとに失われた悲しい歴史を記憶に刻み、風化させないようにしなければなりません。そのためにも、現代に生きる私たちは、こうした歴史があったことを後世に伝えるとともに、「一人ひとりの命を輝かせ、個性を育むための名称」として、未来に向けて発展させていく責務があるのではないのでしょうか。

3. 平和教育の場として

新しい中学校では、この校名案の由来を通じて、平和の尊さを学ぶ教育を実践していきます。

過去を知る： かつて、同じ言葉がどのような歴史を歩んだのかを学び、戦争の悲惨さを忘れないこと。

未来を創る： 同じ言葉を、生徒たちが願った「個性の開花」や「多様性の象徴」として育て上げ、二度と悲劇を繰り返さない社会を築く決意を持つこと。

結びに

「桜花中学校」という名前には、過去の歴史への深い省察と、それらを乗り越えて「一人ひとりが大切にされる民主的な社会」を築いていくという、強い平和への意志が込められています。桜が毎年美しい花を咲かせるように、この学校で学ぶ生徒たちが、平和な空の下でそれぞれの「自分らしい花」を咲かせられるよう、学校・家庭・地域の皆様と共に歩んでまいりたいと考えております。

令和 8 年 2 月 9 日 大牟田市教育委員会